

航空自衛隊入間基地に行って来ました！

企画委員会委員長 芝田美香
企画委員会（文責） 美川公司

5

10



15

令和6年度企画委員会の企画により、埼玉県にある航空自衛隊入間基地（以下、「入間基地」と称します）の見学に行ってきました。当日は、迷走する台風10号の影響で実行が危ぶまれましたが、台風の進路が遠ざかる方向になったこともあり、直前まで部隊との調整を行った上で決行しました。台風の影響による交通機関運休の影響により、特に名古屋方面からの参加希望者の中に参加できなかった方がいらっしやっただのは大変残念でしたが、最終的には26名の参加を得ることができました。また、「楽しかった！」という感想も多かったようで、全体としては有意義な見学会になったと考えます。

20

1. 入間基地について

25

今回見学した入間基地は、飛行場がある航空自衛隊の基地の中で、首都圏に最も近い基地です。その最寄り駅である西武鉄道西武池袋線の稲荷山公園駅には、池袋駅から急行等を使って約40分で到着できます。稲荷山公園駅がすぐ傍にある関係で、基地の中を電車（西武池袋線）が通っている、珍しい基地です（もちろん、基地内に踏切もあります）。また、近くには、日本で初めて飛行機が飛んだことを記念する「所沢航空発祥記念館」を含む「所沢航空記念公園」があります。入間基地は、以前見学した茨城県の百里基地とは異なり、戦闘機の部隊は所属しておりませんが、それに代って、輸送機（C-1型輸送機及び最新のC-2型輸送機）を中心とした多種多様な航空機が所属している基地であり、航空自衛隊の基地の中では最大規模の基地です。入間基地、所沢航空発祥記念館及び所沢航空記念公園について詳細は、それぞれ下記URLをご参照下さい。

30

・入間基地

<https://www.mod.go.jp/asdf/iruma/>

・所沢航空発祥記念館

35

<https://tam-web.jsf.or.jp/>

・所沢航空記念公園

<https://www.parks.or.jp/tokorozawa-kokuu/>

2. 見学会について

40

(1) 開催日時等

見学会は令和6年8月30日（金）に実施しました。今回の見学会では、当初から会員のご家族の参加を意図しておりましたので、お子様の夏休み中に開催できるように部隊と調整した結果、この日の開催となりました。これにより、三つのご家族について、小学生以上の学齢のお子様にも参加頂けました。基地見学自体が午前10時から午後4時までの予定で計画されていたことから、当日は、午前9時半に稲荷山公園駅に参加者が現地集合し、その後徒歩で入間基地に移動しました。なお、入間基地に入門する頃には雨が小降りとなり、後述するように見学用バスをご用意頂いたこともあって、見学全体としては、当初心配していたほど雨に濡れることはありませんでした。

45

(2) 見学内容

50

(a) 入間基地に入門後（下記写真1参照）、入間基地側でご用意頂いた見学用バス（最

大で45人乗り)に乗り込み、見学が始まりました。見学内でのご案内は、入間基地の渉外室に所属されている自衛官三名にご担当頂きました。当該三名について具体的には、3000時間超の飛行時間のF-15パイロットであるA3等空佐(渉外室長で、空軍少佐に相当します)、筆者(美川)の現役時代の職種と同じ職種のB2等空曹(女性で概ね「空軍軍曹」に相当し、お子さんは筆者の後輩だそうです)及び若手のC3等空曹(女性で、概ね「空軍伍長」に相当します)にご担当頂きました。

※写真1(芝田先生ご提供)



- (b) 今回の見学会における具体的な見学対象は、
- 10 (ア) 中部航空方面隊司令部支援飛行隊所属のT-4型中等練習機(以下、「T-4」と称します)及びU-4型多用途支援機(以下、「U-4」と称します)、
- (イ) 入間ヘリコプター空輸隊所属のCH-47型輸送ヘリコプター(以下、「CH-47」と称します)、
- (ウ) 体験喫食(隊員の方と同じお昼ご飯を頂くこと)、
- 15 (エ) 修武台記念館、及び、
- (オ) 基地内売店でのお土産購入
- の五つを、上記の順番でご案内頂きました。
- (ア) T-4及びU-4の見学について

20 中部航空方面隊司令部支援飛行隊は、航空幕僚監部(市ヶ谷)等(つまり飛行場のない勤務地)に勤務するパイロットの技倆維持等のための飛行訓練を担当している部隊で、中等練習機であるT-4(下記写真2左二枚参照)と多用途支援機であるU-4(下記写真2右端参照)を運用しています。そこに所属するパイロットは、教官操縦士資格及び検定操縦士資格を有するベテランばかりです。見学では、中部航空方面隊司令部支援飛行隊所属のパイロットと共に、T-4のコクピットに座って写真を撮らせて頂いたり、

25 装具(ヘルメット、酸素マスク、救命装具やGスーツなど)を試着させて頂いたり、それぞれの説明を聴いたりしていました。

また、T-4とU-4が駐機されている格納庫にお邪魔して見学をさせて頂いたことから、実際の任務飛行に飛び立つ前の他のT-4を観ることができ、これから離陸するパイロットが手を振ってくれたことも、楽しい経験でした。

30 なお、T-4について説明してくれたパイロットが、2010年の正月にフジテレビ系で放映された「さんタク」という番組で木村拓哉さんを後席に乗せて飛んだブルーインパルス5番機の操縦者であったことも、見学する我々にとっては話題になることでした。当該番組については、現在でも「さんタク ブルー」をキーワードとしてインターネットで検索すれば動画を視聴可能ですので、ご興味のある方は観てみて下さい。

35 ※写真2(航空自衛隊HPより)



(イ) CH-47の見学について

5 入間ヘリコプター空輸隊は、東は福島県付近から西は京都府付近までの領域に存在する航空自衛隊の基地間の輸送任務を主任務とし、必要に応じて災害派遣にも従事するヘリコプターの部隊で、ローター（プロペラ）が前後に二つあるCH-47（下記写真3参照）を運用しています。見学では、二つの班に分かれて、外部の説明と内部（コクピットを含む）の説明を受けました。コクピットに座らせて頂いた参加者は、コクピット外から写真も撮って貰いました。「機内にエアコンがなく、夏場はタイヘン」といった興味深いお話を伺うと共に、東日本大震災における災害派遣の体験談も伺うことができ、

10 「万が一のための備え」について考えを確認することができたと共に、「発災時には、救援隊がすぐに到着できない場合があるので、まずは自分で自分の命を守るための備えを普段から万全にしておくこと」の大切さを学びました。

※写真3（航空自衛隊HPより）



15 (ウ) 体験喫食について

体験喫食では、昼食の時間帯に隊員食堂にご案内頂き、隊員の方と全く同じメニューのお昼ご飯を頂きました。メニューとしては、海上自衛隊の海軍カレーに対抗して(?)航空自衛隊内の各基地で独自に考案されて食事に供されている「空自空揚げ（唐揚げ）

20 (<https://www.mod.go.jp/asdf/special/karaage/>)」の入間基地バージョンを頂きました。筆者が現役時代（といっても、三十年以上前ですが…）よりも数段美味しくなっていると感じました。その他、隊員食堂に移動する途中に、隊内にある保育園についてもご説明を頂きました。

(エ) 修武台記念館の見学について

25 修武台記念館は、一言で言いますと、航空自衛隊の隊員全般の教育訓練（精神教育）と航空自衛隊の伝統継承を目的とした記念館で、旧陸軍の航空士官学校時代に使っていた建物を改築したものです。筆者が現役中は、「あの建物は入ったら床が抜けるから立入禁止！」と言われていました。詳細は以下のURLをご覧頂きたいのですが、日本に初めて飛行機が導入された以降、今日までの航空（軍事航空）の歴史が判る資料館です。現在では定期的に見学会が催されているようです。

30 https://www.mod.go.jp/asdf/iruma/kouhou/public_kinenkan/index.html

修武台記念館の見学中になにより驚いたのは、筆者が入間基地に勤務していた時に実際に使用していたレーダーコンソールそれ自体が、展示資料として（もちろん電源が入らない状態で）保存／展示されていたことです。スイッチ操作は可能な状態でしたので、非常に懐かしく思いつつ、ひとしきり操作しておりました。

(オ) お土産購入について

最後に、基地売店にご案内頂き、参加者がお土産を購入する時間を取って頂きました。基地外では手に入りにくい物も多いようで、参加者は各々に買い物を楽しんでおりました（下記写真4参照）

5 ※写真4（芝田先生ご提供）



以上の一連の見学後は、最初に入門した稲荷山門まで部隊バスでご案内頂き、そこでご案内頂いた方々と別れ、最後は稲荷山公園駅で現地解散となりました。

なお、その後、有志により、所沢駅近辺で二次会が開催されたように伺っております。

10

3. 最後に

以上、今年度行われた見学会についてご紹介しました。参加者の感想を伺うに、台風であっても中止しないでよかった、と考える次第です。なお現在では、学校の夏休みが8月末までではなく8月第三週までの場合があるようで、それを考慮しますと、来年度以降は実施時期を早めることも必要と考えます。

15

会員のご希望があれば、来年度もまた別の基地等の見学が企画されるものと考えます。会員の皆様におかれましては、ご都合が合えば、是非ご参加下さい。

改めまして、今回の見学会にご参加頂いた会員各位には、厚く御礼申し上げます。

以上